

大会実施要項

1. 参加チーム 各知的障害者施設・支援学校・養護学校等の参加申込書を提出したチーム。
2. 試合方法
 - チーム編成の性別は区別しない。
 - フットサル競技規則により行う。
 - 試合時間は、6分・1分・6分とする。
 - 選手登録は、原則10名以内とする。
(1試合で10名以内、別の試合で10名以内の範囲で変更可能)
 - 靴は、運動靴に限る。(スパイクの使用は認めない)
3. 競技方法
 - I・II部とも予選リーグの後、決勝トーナメントを行う。
【I部・II部の割り振りは、事務局で行う。】
 - 予選リーグの順位は、勝点(勝3・引分1・負0)合計が大きい方を上位とする。勝点が同じときは、得失点差の大きい方を上位とする。万一、同順位となったときは、抽選で上位チームを決める。
 - I・II部予選リーグの各組上位2チームが決勝トーナメントへ進出する。
 - 決勝トーナメントで同点となったときは、1人目からサドンデスのPK方式により上位を決定する。
 - 決勝・3位決定戦は、3人のPK方式により決定する。
4. 表彰等 1位に盾・表彰状、2・3位に表彰状、4位までに副賞を授与する。
5. 審判 神戸市サッカー協会で行なう。

フットサル競技規則

1. オフサイド オフサイドはない。
2. 反則 相手側競技者へのショルダーチャージ、スライディングタックル（ペナルティーエリア内のGKは除く）は、反則とする。
〔相手側の直接フリーキック、ペナルティーエリア内の場合は、PKで再開〕
3. フリーキック 相手側競技者は、5 m以上離れること。
4. ペナルティーキック ゴールキーパー、キッカー以外の選手は、ペナルティーエリア外で、ペナルティースポットより後方で5 m以上離れること。
5. ゴールクリアランス ゴールキックでなく、ゴールキーパーが手でボールを投げ入れて行う。（直接、ハーフラインを越えて投げ入れてもよい。直接そのボールがインしても得点にはならない。）
6. キックイン
 - ・タッチライン外にボールが出たときは、キックインで再開する。
 - ・ボールは、ライン上に静止していること。キッカーは立ち足を競技場の外またはライン上につけていること。正しく行われないうちは、相手側のキックインとなる。
 - ・キックインから直接得点することはできない。
 - ・相手競技者は、ボールから5 m以上離れること。
7. ゴールキーパーのプレイ制限
 - 〔つぎのプレイには、相手側に間接フリーキックが与えられる。〕
 - ・ボールを離れたあと、ボールがハーフラインを越えず、かつ相手競技者によってプレイされることのないうちに再びゴールキーパーが味方競技者からパスをもらったとき。
 - ・ゴールキーパーが自陣内で4秒以上ボールを保持したとき。
 - ・インプレイ中の、ゴールキーパーのキック、スローはハーフラインを直接越えてもよい。
8. コーナーキック
 - ・相手競技者は、ボールから5 m以上離れること。
 - ・直接得点することができる。
9. ボールの保持 キックイン、フリーキック、コーナーキックは、4秒以内で行うこと。
〔違反時は、相手側のキックイン、フリーキックで再開〕
10. その他 上記以外の項目については、審判員の判断及びフットサル競技規則に準じる。